



広島 厳島 弥山

日 時：1月14日(月、祝) 日帰り リーダー：今山 参加者数：27名

参加者：阿蘇・内海・尾内・貝塚(文)・貝塚(陽)・金島・河合(信)・河合(由)・須増・竹内・砂川(延)・砂川(美)・利弘・西村・長谷川・船津・藤田・前田・舛賀・松尾(俊)・松尾(美)・待場・三木・森永・山本・渡邊

コース：姫路(岡山行) 6:33～宮島口(着) 11:22～宮島連絡船 11:40～宮島棧橋 12:10～大元登山口 12:35～小休止 12:57～駒ヶ林分岐 13:49～弥山山頂 14:11(昼食) 14:56～紅葉谷公園 15:47～宮島棧橋 16:20～宮島口(糸崎行) 16:54～姫路(着) 21:48

世界遺産 宮島弥山へ ―青春キップを利用して―

尾内

日帰りで広島 of 山を楽しむことができるということで心はウキウキわくわくです。一行27名は、6時33分姫路駅より(1名は竜野駅で乗車)宮島に向かって出発しました。早朝の列車の中は当会で貸切状態です。おしゃべりも気兼ねなく、家族のこと、仕事の事、山の話と話題はつきず会話が弾みます。途中万富駅で乗り換え、兵庫、岡山、広島 of 野山、町並み、そして、瀬戸の海や島々など車窓の旅も楽しみながら退屈することなく5時間程で宮島口に到着しました。

宮島口から、JRフェリーで、安芸の宮島へ、海面にそびえる朱塗りの大鳥居を見ると心が厳かになり気が引き締まります。



鹿の歓迎を受け、毛利元就ゆかりの厳島合戦跡地の公園で、旅の疲れを解すためにもストレッチを入念にした後、今山リーダーを先頭にお土産屋さんの側を通って大元神社より登山口を目指して登って行きました。

弥山は紅葉の名所として知られていますが、古くから信仰の対象として手つかずの自然が残り弥山原始林として厳島神社とともに世界遺産に登録され、また、多様な植物が生育し、日本の植物の縮図と言われていることはあまり知られていないように思います。

登山道は、石の階段が続き案内板もわかりやすく良く整備されています。また、花崗岩が風化してできたという巨岩奇石が点在し特異な景観を醸し出しています。めは、モミなどの原生林におおわれ薄暗い感じがしましたが、の間から瀬戸の海が見えかくれするようになってきました。の駒ヶ林山頂へは寄らず一気に弥山山頂上をめざして進みまばかりの上りで疲れもでてきましたがだれも文句は言いません。仁王門跡、水掛地蔵、大日堂を経て、思議の1つである巨岩にあいた小さな穴の中の水が潮の満あわせて上下するという謎の干満岩を通り、畳数十枚分もあわれるとてつもない大きな岩を見上げた先が弥山山頂では360度のパノラマで、お天気も良く穏やかな瀬戸の海や大小の島々、遠く四国、九州の山々を眺望し、大自然の風光美を楽しむことができました。ここで少し遅い昼食をとりました。ここでも鹿が人なつっこく寄ってきました。下山道は三鬼堂を経て紅葉谷コースをとり、このコースも石段がずっと続き、ロープウェイで登ってきた観光客とすれ違ったりして、1時間ほどで紅葉谷公園に着きました。周りのお店が気になりますが、帰りの列車の時刻が迫っているので急いで乗船場へ、船内では、先程登った弥山や駒ヶ林をあれやこれやとながめながら宮島を後にしました。



登りはじ次第に林途中予定した。階段せん。リー弥山七不ち干きにるかと思た。頂上

宮島口で、お土産にもみじ饅頭を買って、列車に乗り込みました。途中糸崎で乗り換え、ここからは乗客も少なくなり予約注文で買ってくださいだった駅弁あなごめしをゆっくり美味しくいただき、また、登山の疲れも忘れて、話に花が咲きました。9時48分予定通り姫路駅に到着、宝殿駅で下車して11時に帰宅、列車の時刻等綿密に計画してくださったおかげで楽しく充実感に満ちた値打ちのある1日を無事終えることができました。今山リーダー、山行計画キップの手配等お世話して下さった会長さん、渡邊さん、グループのリーダー、そして皆さん有難うございました。

弥山という名前は、山の形容が中国の須弥山に似ていることから付けられ、また、弥山は御山とも書き、巖島大明のおわす山という意味だそうです。

巖島弥山山行、初めての青春 18 切符使用で緊張の為か 4 時に目覚め、いそいそと準備し 6 時 20 分に出発。天気予報通り、寒さ厳しく曇がち、車内の温度計は 2 度でした。予定の電車（龍野 6:50）に最後に乗車、皆と会えて一安心、後は万富駅で乗り替え一路宮島口駅まで、途中岡山駅で成人式の振袖姿の娘さんの乗車で昔話に花が咲き、宮島口（11:22）に到着。



宮島連絡船で宮島に上陸、鹿に迎えられ広場で準備運動、いざ出発（12:10）弥山への登山道は幾つかあるが、今回は巖島神社、大鳥居を見ながら大元公園～巨大石～駒ヶ林～弥山の大元コースを登った。

最初は平坦で 10 町付近から岩が大きくなり道も厳しくなってきた。休憩を挟んで駒ヶ林を目指す。13:50 頃駒ヶ林分岐に到着するが行程より遅れている為駒ヶ林に寄らず、お腹が空いていたが一気に弥山を目指す。散策マップでは駒ヶ林からの眺望は一見の価値ありと有るが残念。そして、石の多い山を汗を拭

きながら 14:05 弥山頂上に到着。天気予報に反し快晴で展望もバッチリ大きな岩に腰を下ろし昼食を食べながらの広島湾・江田島や瀬戸内海に浮かぶ小島・牡蠣養殖の筏？かな、それぞれ絵のようで眺望は最高でした。下山は紅葉谷コースを

14:50 に出発、緩やかな道であるが階段の多いコースで膝が少し痛くなった。巖島神社に行程どうり 16:05 に到着。宮島 16 時 25 分の連絡船乗船のため皆さんばたばたと土産物を購入し何とか間に合った。電車内でのアナゴ飯最高に美味しかったです。

全員怪我も無く、楽しい一日でした有難うございました。

和気富士～神ノ上山縦走

日 時：1 月 2 7 日（日） リーダー：今山 参加者数：20 名

参加者：尾内・河合（信）・河合（由）・北川・佐藤・須増・砂川（延）・砂川（美）・竹内・利弘・中嶋・船津・藤田・藤原・前田・松尾・松下・山本・渡邊

コース：高砂運動公園 7:35（みなと観光バス利用）～和気登山口 8:55～和気富士 9:33～
 観音山 10:10～岩山 10:20～間の峰～涸沢峰 10:57～竜王山 11:10～
 奥の峰 11:53～神ノ上山 12:15（昼食）12:50～奥の峰 13:12～下山 13:50～鶴飼谷温泉 14:10（入浴）15:15～サッポロ岡山ワイナリー 15:40（見学・試飲）
 16:25～高砂運動公園 18:05

和気アルプス山行日記

和気アルプスとは岡山県和気郡和気町にある和気富士～神ノ上山（こうのうえやま）山系のことをいう。山はモロイ石英粗面岩で構成、小石も踏むと碎ける、とインターネットにて再確認する。

最近は毎日時間に余裕が無く山行前でも下調べもせず皆さんについて行くだけの山行になりつつあります、山行の前日も、毎日の寒さに閉口しているのに「私はどうして山に行くのかな～」と後悔しつつ床につく。

当日、気合を入れて準備し車に乗り込む。7 時 20 分頃集合場所の高砂運動公園に到着、皆さんの顔を見ると寒さも忘れバスの中では話も弾み楽しいひと時でした。9 時前には登山口に着き、青空が広がる澄んだ空気の中ストレッチをしていざ出発！赤い鳥居をくぐりきれいに整備された山道をまきながら登って



行くと 20 分程で和気富士の頂上（戦国期には城が置かれていたそうです）に着く。そこからしばらく歩くと見晴らしの良い観音山（「和」文字焼きの山）そして穂高山を過ぎ、竜王山分岐にザックを置き空身で竜王山を往復する。神ノ上山の頂上までは尾根歩きがあるかと思えば木々の間を抜けたり、登り下りの繰り返しでその途中には何日か前に降った雪が所々に残り、ちょ



っとした雪山気分も味えて楽しい山行でした。神ノ上山の頂上でお弁当を食べ写真撮影を済ませ下山ですが、今回の下りは岩場が多く砕けた小石で滑りそうになり怖い思いもしましたが、2 時前には全員無事下山、鵜飼谷温泉にて汗を流し体も温まり、とても良い気分今日のメイン？であるサッポロ岡山ワイナリーにて美味しいワインの試飲をしてお土産も買い満足・満足で帰途に着く。今回の和気アルプスには北アルプスの穂高・槍・剣・ハツ峰・チンネ・ザイテングラードなどなどアルペン気分を思わせる名前が付けられ、本物のアルプスへの思いをかきたてられました。いつもの事ながらリーダーをはじめ皆さんには大変お世話になり有難うございました。次回の山行を楽しみにしています。

「山々に雪舞う姿美しく しばし見とれて足元危うし」

高御位山とお食事会 …女性部…

日 時：1 月 1 9 日（土） リーダー：松尾 参加者数：1 3 名

参加者：貝塚（陽）・金島・河合（由）・佐藤・藤原・砂川（美）・瀬口・戸野本・西村・松下・待場・森永

コース：市の池公園駐車場 9 時集合～馬の背登山口～馬の背分岐～鷹の巣～鹿島神社～鹿島殿

大満足の日

快晴のお天気、きりっとひきしめる寒さ 9 時 20 分出発、馬の背を登る。初めて馬の背からと言う人も居てにぎやかに歩きはじめる。風がなくていいなと思っていたら途中帽子が飛びそうな位の風にびっくりして・・・少し温かくなったところで、鉄塔のある馬の背で服の調整小休止、10 時鷹の巣山からの合流地点で 10 分の休憩、おみかんとチョコレートを買ってお茶を飲んでホッと一息、10 時 10 分出発。鹿島神社から登った鉄塔の所で姫路城を探索。お天気で風もあまりなく遠くまでよく見える。お城や海に浮かぶ島も絵になるようなきれいな風景でした。11 時に時間通り、お食事所へ。

記念写真、お疲れ様。写真の中の皆さんすごい充足の顔、顔。11 時半、見て綺麗、味わって食べておいしいお昼ご飯、大満足の日。

ありがとうございました。

瀬口



事務局からのお願い

● 登山時報の購読をお薦めします。（日本勤労者山岳連盟発行の月刊誌）

「登山時報」は労山会員の機関紙です。全国連盟の活動や山に関するいろいろな話題が掲載されています。当会では現在、18 名の方が購読されています。

なお、内容のサンプルをご覧になりたい方は、事務局まで申し出てください。

（登山時報は 250 円 / 冊で提供しています）

● 会報掲載用投稿のお願い

山に関する情報、お薦めの装備品、会員の方に薦めたい本、その他役立つ情報について投稿をお待ちしています。